

平成30年度「外部専門機関と連携した英語指導力向上事業」～福島県立葵高等学校～

現状の課題と課題解決のための手立て

- ・**現状の課題**: 大学進学希望者が多いが、模試や外部試験の平均点は全国と比較するとやや下回っている。語彙力が不足している。
- ・**課題解決のための手立て**: 4技能をバランスよく育成するため、授業での言語活動を充実させる。語彙力定着に向けた単語テスト等をこまめに行う。パフォーマンステストを実施する。

具体の取組の内容

- ・**Reading**について: 授業ではワークシートを活用し、ペアになってさまざまなパターンで音読を繰り返したり、意味のまとまり毎に文を適切なフレーズに分けて覚えたり、本文を要約させたりしている。訳読に頼らず、生徒自身が英語を使う時間を授業内で多く設けよう心がけている。
- ・**Listening**について: 朝自習でListening問題(市販の問題集や外部試験の過去問など)やDictationに取り組んでいる。
- ・**Writing**について: 授業で扱った内容を元に、要約文やエッセイを書く課題を与えた。定期考査でもWriting問題を出題するようにしている。添削に関しては、ALTにも協力してもらっている。
- ・**Spelling**について: 普段の授業で、教科書の内容を口頭で要約し、ペアの相手に伝える活動を取り入れている。また、1年生では今年新たな試みとしてRecitation contestを実施した。コミュニケーション英語の教科書から1レッスンを取り上げ、各パートをグループで一人ずつ分担して覚え、暗唱した。評価表(声の大きさ、発音、流暢さ、ポーズなど)を作成したので、生徒たちは評価観点を意識して練習に取り組んでいた。自分以外のグループの発表にもしっかり耳を傾けていた。
- ・**語彙力定着へ向けて**: 授業の冒頭の帯活動を使い、単語帳を覚えてペアで問題を出し合ったり、単語テストをこまめに行ったりしている。最近では単語帳のスマートフォン向けアプリもあり、日→英や英→日のクイズや、例文の音声聞くことが出来るなど内容が充実している。そのため、テスト前などに利用する生徒も多い。
- ・**授業公開(12月6日)**: 1年生コミュニケーション英語Ⅰ、2年生のコミュニケーションⅡと英語表現Ⅱの授業を公開した。高校だけでなく、小・中学校の先生方も多く参観に来られたため、授業研究では小・中・高の指導の実態について情報交換することもできた。



↑ 普段の授業の様子。ワークシートを使い、ペアで音読やリテリング活動に取り組んでいる。



↑ Recitation contest 発表の様子、評価表。

成果①

8月実施GTEC結果より(1、2年生全員対象で実施)
《2年生》

実施時期	前回		今回		(前年度2年生)		高2全国
	スコア	グレード	スコア	グレード	スコア	グレード	
RLW Total	384.1	3	423.9	3	399.2	3	448
Reading	136.6	2	152.7	3	153.9	3	166
WPM	59.4	-	68.0	-	69.0	-	77
Listening	152.2	2	172.0	3	147.7	2	174
Writing	95.3	3	99.0	3	92.9	3	106
Speaking	-	-	95.3	3	-	-	-

《1年生》

実施時期	今回		高1全国
	スコア	グレード	
RLW Total	392.5	3	415
Reading	139.8	2	152
WPM	61.0	-	69
Listening	147.6	2	159
Writing	104.4	4	103
Speaking	98.2	3	-

・RLWトータルでグレード4(高校英語中級レベル)以上の生徒は、2年生では229人中86人(37.6%)、1年生では235人中53人(22.6%)だった。

・2年生では、Listeningの伸びが顕著だった。

・1年生のWritingが全国平均を上回った。

成果②

・上記のような取り組みを継続することで、生徒達は英語でのアウトプットに徐々に慣れてきた様子である。「間違ってもいいから、とりあえず何か書いたり話したりしてみよう」という姿勢が見られる。授業中のさまざまなペアワークにも積極的に取り組んでいる。

・1、2年生は年に2回GTECを全員で受験しているが、加えて希望者対象のGTECや英検も年に数回実施している。英作文の添削や、英検二次の面接指導を行っている。受験を希望する生徒が増加しており、意欲的に対策に励む者が多い。

今後の課題・方向性

- ・外部試験や模試の結果を追跡すると、少しずつ伸びは見られるものの、全国平均をやや下回っている。Readingに関しては、普段英語を読む量が不足しており、長文を読むことに慣れていない生徒も見られる。さまざまなジャンルの英文を、なるべく多く読ませていく必要がある。
- ・Listeningに苦手意識を持っている生徒が多い。授業や朝自習でも練習をしているが、繰り返し指導していき耳を慣れさせたい。スマートフォンで音声やスクリプトを確認できる問題集も多いので、家庭学習で活用させる。
- ・英語で書いたり話したりすることへの抵抗は少なくなってきたようなので、今後はaccuracy(正確さ)のレベルを上げるにはどうすべきか考えていく。
- ・単語テストに向け勉強しても、その後すぐに忘れてしまう生徒もいる。語彙力は英語を学習していく上で基盤となるものなので、定着に向けて今後も繰り返し指導していく。
- ・本校は1学年約240人在籍しているため、パフォーマンステストの実施時期や回数、内容や評価方法などについて、できるだけ教員の負担にならないように検討していく必要がある。